

## 2022 山形県ジュニアサッカー大会 (U12) 実施要項

1. 趣 旨 日本 of 将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると共に人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ生涯にわたって楽しみ、関わっていきけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
2. 名 称 2022 山形県ジュニアサッカー大会 (U12)
3. 主 催 NPO法人山形県サッカー協会
4. 主 管 山形県サッカー協会4種委員会/長井地区サッカー協会4種委員会
5. 期 日 2022年6月11日(土)~12日(日)
6. 会 場 白鷹町 東陽の里公園 東陽グラウンド(山形県フットボールセンター)
7. 参加資格 ①「参加チーム」は、大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」)第4種に加盟登録していること。  
②上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動しており、小学6年生以下の単一チームで構成されていること。  
③「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。  
④引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJFA公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。原則としてJFAの発行した公認指導者ライセンス証(各チームで印刷)(写真付)を持参すること。  
※公認指導者ライセンス証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した公認指導者ライセンス証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。  
⑤「参加チーム」はスポーツ傷害保険等に加入していること。  
⑥「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。  
⑦「参加選手」は、原則としてJFAの発行した加盟チームの選手登録証(各チームで印刷)(写真付)を持参すること。  
※選手証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。  
※本大会は「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」([https://www.jfa.jp/about\\_jfa/guideline.html](https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html))、「試合の開催について」及び「新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項」を適用し、開催運営します。各チームはガイドライン等をチーム関係者に周知し遵守の上、参加してください。参加チームは「新型コロナウイルス感染拡大防止対策チェックリスト」1部及び「山形県サッカー協会 大会参加者健康チェック表 チーム用」2部を記入作成し、会場責任者(主管チーム)に提出してください。なお、大会参加者健康チェック表は選手、指導者のほか、会場に入場する保護者等を含めて作成してください。(使用会場において、指定の様式がある場合等は、会場の指示に従うこと。)
8. 参加チーム 県内各地区予選を勝ち抜いた計16チーム(山形5、酒田2、鶴岡3、新庄2、米沢3、長井1チーム)
9. チーム構成 原則としてチーム編成は、引率指導者3名(監督1・コーチ2)選手16名以内とする。
10. 大会形式 トーナメント形式とする。  
試合終了時点で勝敗が決しない場合は、試合終了時に出場している3選手によるPK戦を行い、その後はサドンデスとする。ただし、決勝戦のみ10分間の延長を行うものとする。(5×5)
11. 組み合わせ 別途組み合わせとする。(別紙参照)
12. 競技規則 2021/2022年度JFA「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。但し、以下の項目については、特に本大会用として大会規定を定める。  
1) プレー時間: 20分前後半制・インターバル5分  
2) 選手交代の人数はエントリー人数以内とし交代の回数は制限しない。また、交代して一度退いた選手が再び出場できる自由な交代とする。但し、交代の手続きは、JFA「8人制競技規則」による。  
3) ゴールキーパーは事前に主審に通告した上で試合停止中交代することができる。  
4) 試合中に不慮の事故等で選手が6名以下になった場合は試合中止(棄権/0-5)とする。  
5) 試合球はJFA公認4号球(検定球)とし、各チーム持ち寄りとする。  
6) 暑熱下の際、本部判断により前・後半中程にCooling Break又は飲水タイムを採用する。  
7) ベンチ内の人数はエントリーされた選手と指導者(役員)2名以上3名以内とする。

- (警告・退場) ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。但し、常に8人でプレーするものとする。  
 ②本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。  
 ③本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。  
 ④その他詳細については本大会規律委員会で審議し当該チーム及び選手に通知する。  
 ⑤ベンチ(役員)が、判定に対しての執拗過剰な異議、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行った場合、主審の判断により、警告又は退場とする。
- (審判員) 1人の主審と補助審判が指名される。  
 各チーム帯同審判(3級審判以上の資格を有する者)の準備をすること。試合開始15分前、本部に審判証を持参して集合すること。  
 ※審判証とは、JFAWEBシステム「KICKOFF」から出力した審判証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
- (ユニフォーム) ①JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。  
 ②本大会出場チームは正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。  
 ③選手番号については、参加選手ごとに本大会中、同一のものを使用する。ただし、背番号は1~99番とする。  
 ④ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。  
 ⑤ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合は、ピブス着用でも可とし、ピブスの番号は問わない。  
 ⑥主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。  
 ⑦前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。  
 ⑧ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。  
 ⑨アンダーシャツ・ショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (ピッチサイズ) 通常の少年用サイズとする。  
 (その他) テクニカルエリアを設ける。アディショナルタイム表示はしない。
13. 不測な事態や事項が発生した場合、大会本部及び4種委員会が協議し判断する。
14. 表彰  
 優勝 賞状・優勝カップ・メダル  
 準優勝 賞状・準優勝盾・メダル  
 第3位 賞状・第3位盾・メダル  
 第4位 賞状・第4位盾
15. 参加費 5,000円(当日大会本部へ納付のこと)
16. 参加申込及び連絡先  
 ①参加チームは大会プログラム用メンバー表を5月31日(火)(20:00)まで下記宛に提出すること。  
 ②但し、順位が確定しない地区は、その旨を連絡すること。  
 提出先 E-mail spmenu2003@gmail.com  
 連絡先 長井地区サッカー協会4種委員会事務局 佐藤智昭 090-4713-9994
17. 負傷者等に対する対応と災害発生に対する措置について  
 ①大会中における怪我や事故等については各チームの責任に帰するものとする。  
 ②各チームにおいて熱中症予防(対策)に努めて下さい。  
 ③災害等が発生した場合は、会場の災害対応マニュアルに従い避難する。
18. その他 本大会の実施に関し、要項に定めのない事項や、本大会参加中、試合中に限らず選手に対する著しい言動や行動があった場合には、大会本部にて事実確認を行い何らかの処分対象とする。
19. スケジュール  
 ①開会式は実施しない。  
 ②大会両日において各チーム試合開始1時間前(※大会初日2試合目については50分前)に当該チームによりマッチミーティングを本部にて実施する。  
 (※監督又はベンチ入りスタッフが必ず参加すること)  
 持参するもの FP・GKシャツ、パンツ、ソックス(正・副)、メンバー用紙、選手証、指導者証(ベンチ入りスタッフのみ)、試合球  
 6月11日(土) AM 9:30 キックオフ  
 6月12日(日) AM10:00 キックオフ PM1:00 閉会式(表彰式)

## 試合の開催について ※基本的にすべての行動での三密は避ける

- 【会場】
- ①防球ネット内は、当該試合の監督・コーチ・選手・運営関係者以外立ち入り禁止とする。
  - ②基本的にスタンドの無い会場内（学校等）は、施設の留意事項に従うこととする。「新しい生活様式」を守りチーム毎まとまっでの観戦や発声はしない。
  - ③各チームは事前に、保護者の方々が密の状況を作らず感情的になって大声で叫ばないように行動するよう、協力の徹底をお願いすること。
  - ④駐車場や施設内では少人数で行動し密を避ける。
- 【試合開始】
- ①用具チェックは、通常通り試合前に行う。
  - ②セレモニーは、相手チーム及び審判との握手は実施しない。
- 【試合中】
- ①得点時にハイタッチ、抱擁は極力避ける。
  - ②ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。
- 【ベンチ内】
- ①三密を避けた行動を心がける。
  - ②指導者も含めむやみに大声を出さない。
  - ③選手、本部、審判も含め飲料水は、個人で準備し各人の責任において処理をする。
- 【試合終了後】
- ①セレモニーは、相手チーム及び審判との握手は実施しない。
  - ②ベンチ前（相手・自チーム）での挨拶及び握手などは実施しない。
  - ③スタンド及び応援席への挨拶も実施しない。速やかにベンチを空け会場から移動する。

## 新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項

1. チーム代表者は選手及びスタッフが以下の事項に該当する場合、チーム帯同を見合わせる。
  - ・体調が良くない場合。（例：発熱・咳などの症状がある場合）
  - ・同居家族及び身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
  - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 移動時の対応
  - ・出発時に選手及びスタッフに検温及び上記を確認し、チェックリストに記入すること。
  - ・可能な限り、小グループでの移動を心掛け、マスク着用、換気等の対策を行うこと。
3. 会場における感染防止対策
  - ・飲水ボトルを共有しない。（各自個人毎の準備）
  - ・ごみは個人で管理し、収集、持ち帰り処分すること。（密閉すること）
  - ・会場内に準備してある消毒液とポンプ型石鹸で手の消毒をこまめに行うこと。
  - ・プレー中以外はマスク着用のこと。（熱中症が懸念される状況下では、距離を保ったうえでマスクを外す）
  - ・飲みきれなかった水やスポーツドリンクは指定場所に捨てること。
4. 事後対応
  - ・大会後にチームから新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告すること。